

2006年度 決算説明資料

—2007年 5月 8日—

京王電鉄株式会社

本日の内容



I. 2006年度の業績 **P. 3**

I – I. 連結決算 **P. 3**

I – II. セグメント別の概況 **P. 9**

II. 2007年度の業績予想 **P. 25**

III. 対処すべき課題と重点施策 **P. 30**

I . 2006年度の業績

I - I . 連結決算

1. 主な業績の変動項目

< 運輸業 - 増収減益 >

- (鉄道事業)

鉄道輸送人員の増 減価償却費の増

< 流通業 - 減収増益 >

- (百貨店業)

前期に「阪神タイガース優勝記念セール」の実施

- (ストア業・百貨店業)

利益率の向上

< 不動産業 - 増収増益 >

- (不動産販売業)

「トラスティア北野」の販売

< レジャー・サービス業 - 減収増益 >

- (旅行業)

一部の売上計上方法を変更

- (ホテル業)

「京王プラザホテル（新宿）」の宴会等が好調

前期に「京王プレッソイン」の営業休止に伴う
一時的な費用

< その他 - 増収増益 >

- (ビル総合管理業)

新規業務受託の増

【 I — I . 連結決算】



2. 連結損益計算書

〈単位:百万円〉

	2007/3	2006/3	増減額	増減率
連結営業収益	430,197	438,253	△8,056	△1.8
連結営業利益	42,298	39,937	2,361	5.9
連結経常利益	36,795	36,368	427	1.2
連結当期純利益	21,539	19,867	1,671	8.4
連結EBITDA	71,390	67,407	3,982	5.9

	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・サービス業	その他
(営業収益)	+ 15億円	△ 4億円	+ 28億円	△110億円 (※)	+ 61億円
(営業利益)	△ 11億円	+ 3億円	+ 12億円	+ 11億円	+ 12億円

(※) 旅行業において、一部の売上計上方法を、取扱収入計上から手数料収入計上に変更した(142億円の減収)。
 なお、営業利益以下の項目に影響はない。

- (注) 1. 連結EBITDAは、連結営業利益 + 減価償却費により算出している。
 2. セグメント別の営業収益、営業利益の増減額には、セグメント間取引を含む。

【 I - I . 連結決算】



3. 連結貸借対照表

〈単位:百万円〉

	2007/3	2006/3	増減額
総 資 産	648, 161	630, 700	17, 460
負 債	401, 531	393, 056	8, 475
純 資 産	246, 629	237, 644	8, 985
負債及び純資産	648, 161	630, 700	17, 460

(総資産) 有形固定資産の増

(負債) 有利子負債の増

(純資産) 当期純利益の計上による利益剰余金の増

【 I - I . 連結決算】



4. 連結キャッシュ・フロー

〈単位:百万円〉

	2007/3	2006/3	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	49,086	54,944	△ 5,858
投資活動によるキャッシュ・フロー	△46,110	△33,040	△13,069
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,733	△ 4,299	6,032
現金及び現金同等物の期末残高	43,516	38,802	4,713
有利子負債の期末残高	222,531	214,778	7,753

(営業活動CF)	税金等調整前当期純利益の増	+ 31億円
	法人税等の支払額の増	△ 38億円
(投資活動CF)	有形固定資産の取得による支出の増	△ 148億円
(財務活動CF)	無担保割引社債発行による増	+ 253億円
	社債の債務履行引受契約実施に伴う減	△ 216億円

(注) 有利子負債は、借入金+社債+鉄道・運輸機構未払金 により算出している。

5. 京王電鉄の損益計算書

〈単位:百万円〉

	2007/3	2006/3	増減額	増減率
				%
営業収益	120,931	116,796	4,135	3.5
営業利益	30,270	29,392	878	3.0
経常利益	23,919	24,970	△1,050	△4.2
当期純利益	14,671	13,303	1,368	10.3

(営業収益)	鉄道事業	+ 8億円	(旅客運輸収入	+ 8億円)
	付帯事業	+33億円	(不動産賃貸業	+ 9億円)
			(不動産販売業	+26億円)
(営業利益)	鉄道事業	△ 9億円	(減価償却費の増	△18億円)
	付帯事業	+18億円	(不動産賃貸業	+10億円)
			(不動産販売業	+ 4億円)

I . 2006年度の業績

I - II . セグメント別の概況

【 I - II . セグメント別の概況】



1. セグメントの構成状況 (2007年3月末)

< 連結会社 > 38社 (京王電鉄は複数のセグメントに重複して含まれている)

運輸業	流通業	不動産業	レジャー・サービス業	その他
京王電鉄 京王電鉄バス 京王自動車 他 7社	京王百貨店 京王ストア 京王リテールサービス 他 7社	京王電鉄 京王不動産 京王地下駐車場	京王プラザホテル 京王観光 京王エージェンシー 他 4社	京王設備サービス 京王重機整備 京王建設 他 8社

< 営業収益 > 2007/3 4,301億円 単位:億円

1,300 (27.3%)	1,882 (39.4%)	272 (5.7%)	737 (15.5%)	579 (12.1%)
------------------	------------------	---------------	----------------	----------------

< 営業利益 > 2007/3 422億円

197 (45.6%)	60 (13.9%)	96 (22.4%)	45 (10.6%)	32 (7.5%)
----------------	---------------	---------------	---------------	--------------

(注) セグメントの数値は、セグメント間取引を含む金額、構成比率である。

【 I - II . セグメント別の概況】



2. 運輸業の実績

〈単位：百万円〉

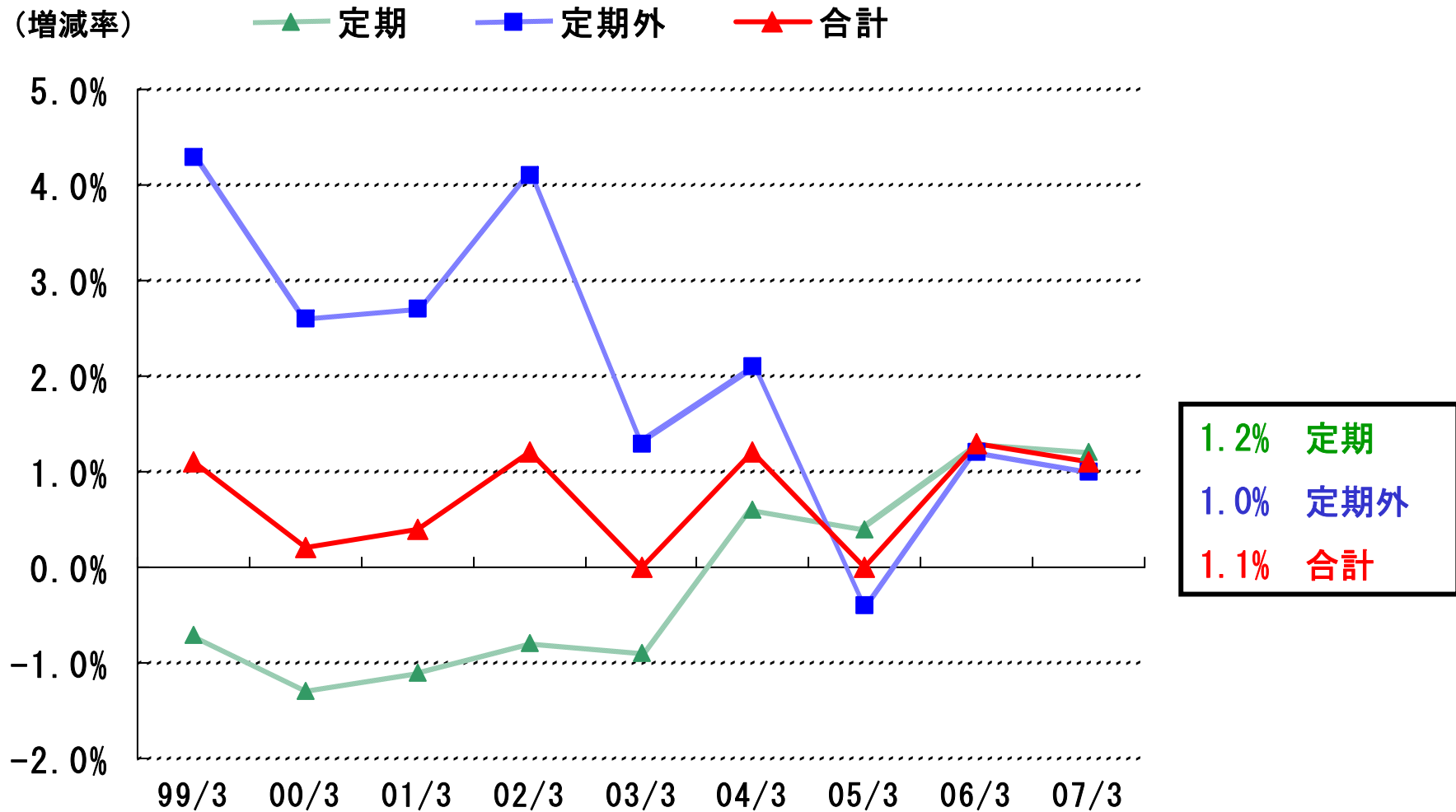
	2007/3	2006/3	増減率
			%
鉄 道 事 業	81,238	80,421	1.0
バ ス 事 業	28,141	27,840	1.1
タ ク シ ー 業	14,604	14,344	1.8
そ の 他	3,101	3,164	△ 2.0
外部顧客に対する営業収益	127,086	125,770	1.0
セグメント間取引	3,011	2,748	-
営 業 収 益	130,097	128,519	1.2
営 業 利 益	19,760	20,896	△ 5.4
減 価 償 却 費	17,154	15,356	11.7
資 本 的 支 出	33,662	20,905	61.0

【 I - II . セグメント別の概況】



2. 運輸業の実績

鉄道事業の輸送人員（対前年同期増減率の推移）



【 I - II . セグメント別の概況】



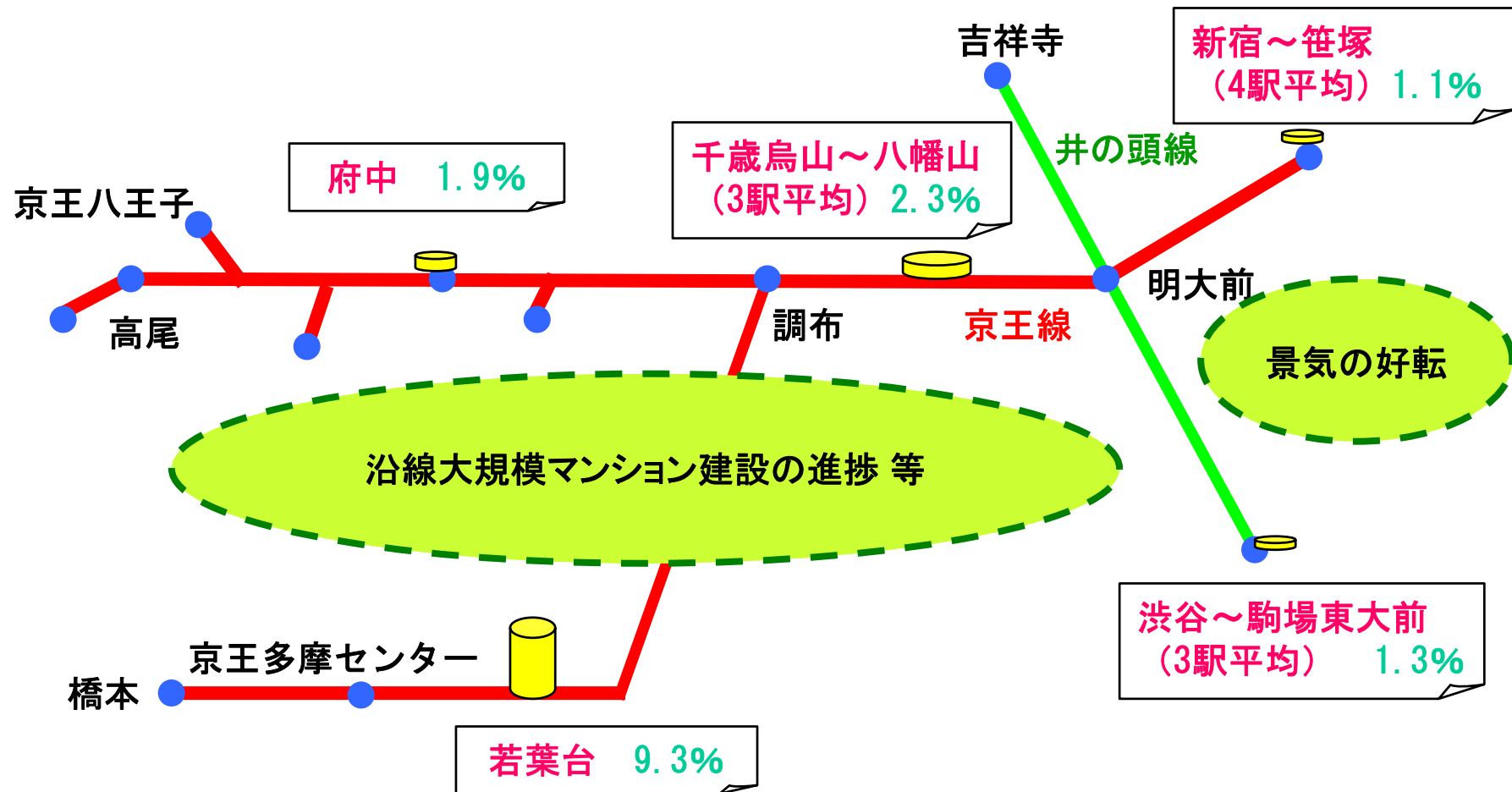
2. 運輸業の実績 鉄道事業の輸送人員と旅客運輸収入

	2007/3	2006/3	増減	増減率
輸 送 人 員	千人	千人	千人	%
定 期	355,858	351,646	4,212	1.2
（ 通 勤 ）	265,076	259,551	5,525	2.1
（ 通 学 ）	90,782	92,095	△ 1,313	△ 1.4
定 期 外	257,362	254,769	2,593	1.0
合 計	613,220	606,415	6,805	1.1
旅 客 運 輸 収 入	百万円	百万円	百万円	%
定 期	33,170	32,707	463	1.4
（ 通 勤 ）	29,510	28,975	534	1.8
（ 通 学 ）	3,660	3,731	△ 70	△ 1.9
定 期 外	44,995	44,577	418	0.9
合 計	78,165	77,284	881	1.1

【 I - II . セグメント別の概況】



2. 運輸業の実績 鉄道事業の駅別乗車人員の伸び率



【 I - II . セグメント別の概況】



3. 流通業の実績

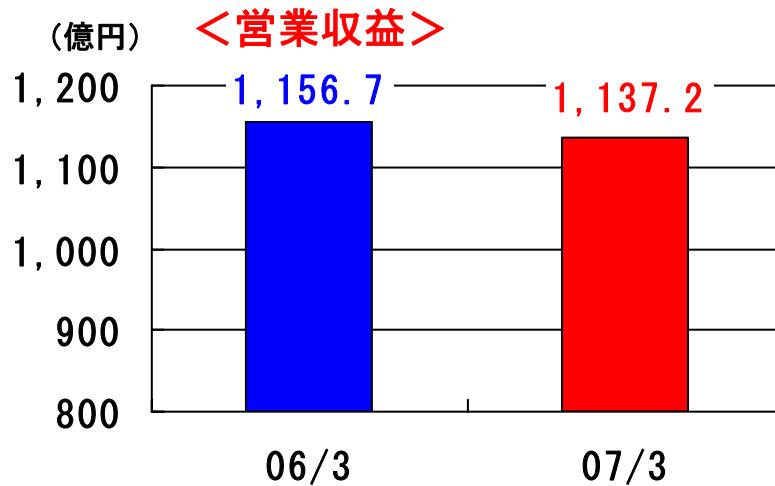
〈単位:百万円〉

	2007/3	2006/3	増減率
			%
百貨店業	111,628	113,611	△ 1.7
ストア業	39,761	38,779	2.5
駅売店業	9,657	10,120	△ 4.6
書籍販売業	11,191	10,456	7.0
その他の	13,472	13,098	2.9
外部顧客に対する営業収益	185,712	186,067	△ 0.2
セグメント間取引	2,528	2,630	-
営業収益	188,240	188,697	△ 0.2
営業利益	6,007	5,614	7.0
減価償却費	3,750	3,768	△ 0.5
資本的支出	5,759	3,702	55.6

【 I - II . セグメント別の概況】



3. 流通業の実績 京王百貨店の営業収益



営業収益(減収) : 前期に「阪神タイガース優勝記念セール」を実施

営業利益(増益) : 利益率の向上

(営業概況)

「新・大人生活へ」をコンセプトに新宿店を改装

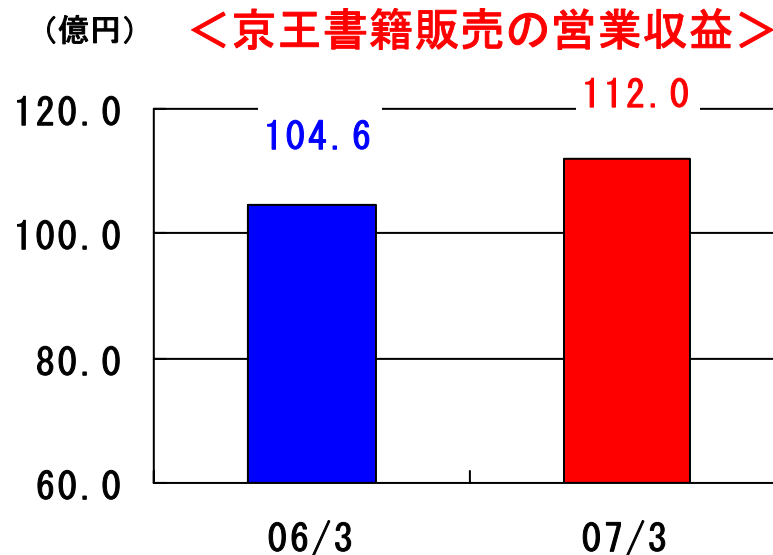
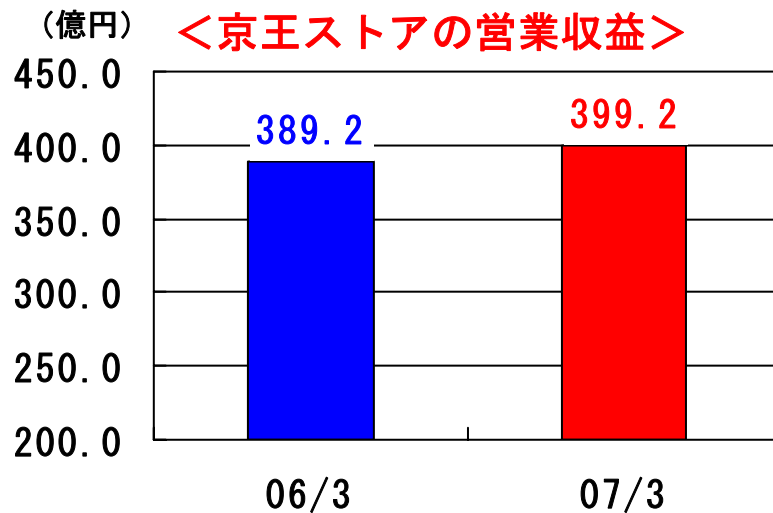
- ・ 2~4階婦人服フロア 2006年 9月
- ・ 地下1階食品フロア 2007年 3月
- ・ 中地階食品フロア 2007年 4月

改装後の地下1階食品フロア

【 I - II . セグメント別の概況】



3. 流通業の実績 京王ストア／京王書籍販売の営業収益



○京王ストア 営業収益(増収)：新店効果
(営業概況)

- ・ 稲城店 2006年 7月 新規オープン
- ・ 八幡山店 2006年10月 新規オープン
- ・ 高井戸店 2007年 3月 新規オープン

○京王書籍販売 営業収益(増収)：新店効果
(営業概況)

- ・ 府中店 2006年 4月 リニューアル
- ・ 下高井戸店 2006年 5月 リニューアル
- ・ 稲城店 2006年 7月 新規オープン
- ・ 高幡店 2007年 3月 増床オープン



京王リトナード稲城

【 I - II . セグメント別の概況】



4. 不動産業の実績

〈単位:百万円〉

	2007/3	2006/3	増減率
			%
不動産賃貸業	15,455	14,918	3.6
不動産販売業	8,485	6,186	37.2
その他の	1,294	1,295	△ 0.1
外部顧客に対する営業収益	25,235	22,400	12.7
セグメント間取引	1,965	1,922	-
営業収益	27,201	24,322	11.8
営業利益	9,690	8,473	14.4
減価償却費	4,102	4,334	△ 5.4
資本的支出	6,213	4,251	46.2

【 I - II . セグメント別の概況】



4. 不動産業の実績 主な新規賃貸物件と販売物件

<不動産賃貸業>

竣工	物件	賃貸面積 (㎡)
2006年 3月	H i - R O O M S 哲学堂 (全17戸)	651
2006年 7月	京王リトナード稲城	6,474
2006年10月	京王リトナード八幡山	3,544
2007年 1月	H i - R O O M S 方南町 (全15戸)	519
2007年 3月	京王リトナード高井戸	3,188



トラスティア北野

<不動産販売業>

物件	備考
恵比寿ネオナート	延払条件付譲渡により2004年度～2006年度に分割して収入計上
京王四季の街	八王子みなみ野シティ (2006年上期23戸・下期25戸をそれぞれ販売)
季望の丘	京王平山住宅地 (15区画を販売)
トラスティア北野	定期借地権分譲マンション (全127戸を販売)

【 I - II . セグメント別の概況】



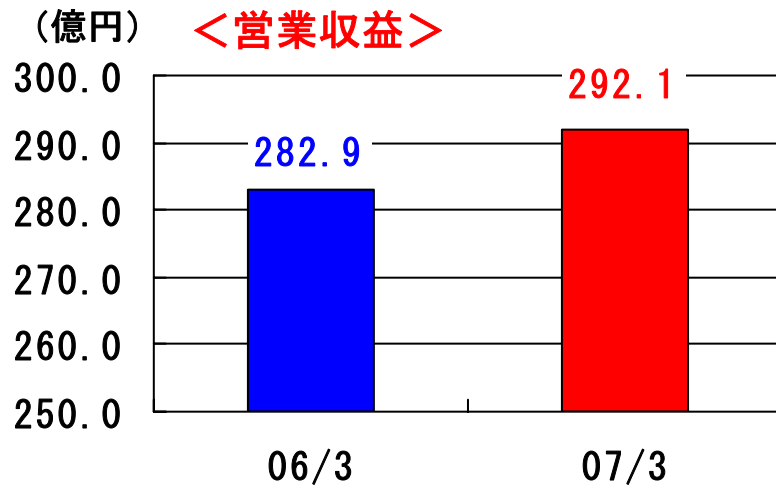
5. レジャー・サービス業の実績 〈単位:百万円〉

	2007/3	2006/3	増減率
			%
ホ テ ル 業	37,163	35,930	3.4
旅 行 業	18,706	31,693	△41.0
広 告 代 理 業	5,875	5,715	2.8
そ の 他	6,349	6,501	△ 2.3
外部顧客に対する営業収益	68,095	79,840	△14.7
セグメント間取引	5,622	4,934	-
営 業 収 益	73,718	84,775	△13.0
営 業 利 益	4,595	3,481	32.0
減 価 償 却 費	3,719	4,323	△14.0
資 本 的 支 出	1,898	8,719	△78.2

【 I - II . セグメント別の概況】



5. レジャー・サービス業の実績 京王プラザホテルの営業収益／客室稼働率／室単価



営業収益(増収)：新宿の宴会等が好調

宴会：学会や大型宴会の受注および

婚礼件数の増加による収入増

宿泊：室単価向上

<客室稼働率>

2006/3	2007/3
89.5%	88.3%

<室単価>

(単位：円)

2006/3	2007/3	増減
15,530	16,389	859

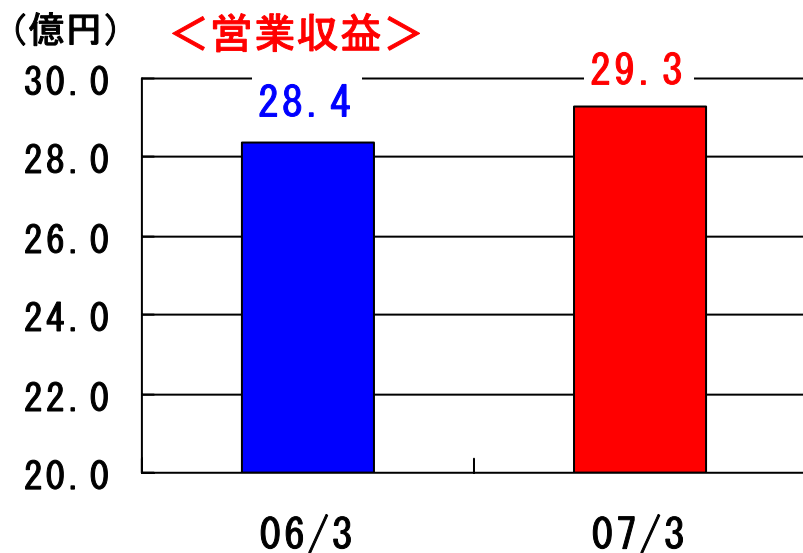


プラザプレミア

【 I - II . セグメント別の概況】



5. レジャー・サービス業の実績 京王プレッソインの営業収益／客室稼働率



営業利益は、前期に営業休止に伴う一時的な費用などがあったため、7億円の増益

店舗名	客室数	開業	2007/3 客室稼働率
東銀座	250	2002年 2月	86.2% (86.3%)
神田	270	2003年 6月	75.7% (73.4%)
新宿	371	2005年 5月	76.7% (62.6%)
大手町	386	2005年10月	74.7% (63.8%)

※()内は06/3の客室稼働率



京王プレッソイン大手町

【 I - II . セグメント別の概況】



6. その他の実績

〈単位：百万円〉

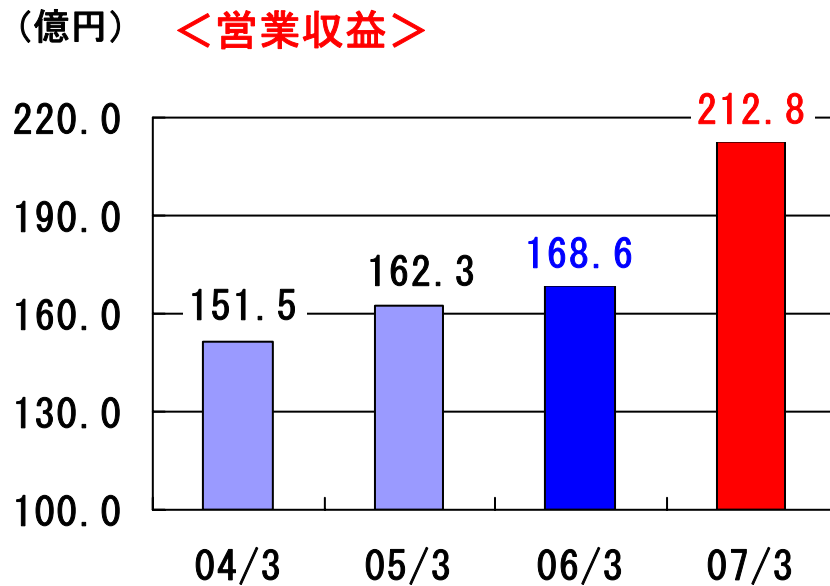
	2007/3	2006/3	増減率
			%
ビル総合管理業	8,666	7,093	22.2
車両整備業	6,453	6,607	△ 2.3
建築・土木業	8,171	9,745	△16.1
その他	776	729	6.5
外部顧客に対する営業収益	24,068	24,174	△ 0.4
セグメント間取引	33,865	27,602	-
営業収益	57,933	51,777	11.9
営業利益	3,257	2,045	59.2
減価償却費	381	461	△17.3
資本的支出	1,342	378	254.6

【I - II. セグメント別の概況】



6. その他の実績

京王設備サービスの営業収益／グループ外新規業務受託



営業収益（増収）：新規業務受託の増



杉並公会堂

【主なグループ外新規業務受託】

名称	杉並公会堂	八王子市北野余熱利用センター	東京臨海新交通ゆりかもめ
業務開始	2006年 6月～	2006年 4月～	2006年 4月～
業務内容	企画・運営・営業全般、 施設の維持管理業務	運営・営業、施設の 維持管理業務	全16駅での 駅電気設備管理業務

Ⅱ．2007年度の業績予想

【Ⅱ. 2007年度の業績予想】



1. 主な業績の変動項目

<運輸業—増収増益>

- （鉄道事業） 輸送人員の増

<流通業—増収増益>

- （書籍販売業） 新店の開業

<不動産業—減収減益>

- （不動産販売業） 販売収入の減

<レジャー・サービス業—増収減益>

- （ホテル業） 「京王プレッソイン」の開業費負担

<その他—減収減益>

- （車両整備業） 特殊車両整備業で受託減

【Ⅱ. 2007年度の業績予想】



2. 連結損益計算書

〈単位：億円〉

	2007/3	2008/3予想	増減額	増減率
連結営業収益	4,301	4,295	△ 6	△0.2%
連結営業利益	422	396	△ 26	△6.4
連結経常利益	367	365	△ 2	△0.8
連結当期純利益	215	218	2	1.2
連結EBITDA	713	702	△ 11	△1.5

	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・サービス業	その他
(営業収益)	+ 13億円	+ 5億円	△ 42億円	+ 0億円	△ 27億円
(営業利益)	+ 7億円	+ 1億円	△ 16億円	△ 10億円	△ 10億円

(注) 1. 連結EBITDAの算出方法は、連結営業利益 + 減価償却費により算出している。

2. セグメント別の営業収益、営業利益の増減額には、セグメント間取引を含む。

【Ⅱ. 2007年度の業績予想】



3. 鉄道事業輸送人員

	2007/3	2008/3予想	増減	増減率
輸 送 人 員	千人	千人	千人	%
定 期	355,858	365,125	9,267	2.6
（ 通 勤 ）	265,076	273,233	8,157	3.1
（ 通 学 ）	90,782	91,892	1,110	1.2
定 期 外	257,362	258,208	846	0.3
合 計	613,220	623,333	10,113	1.6

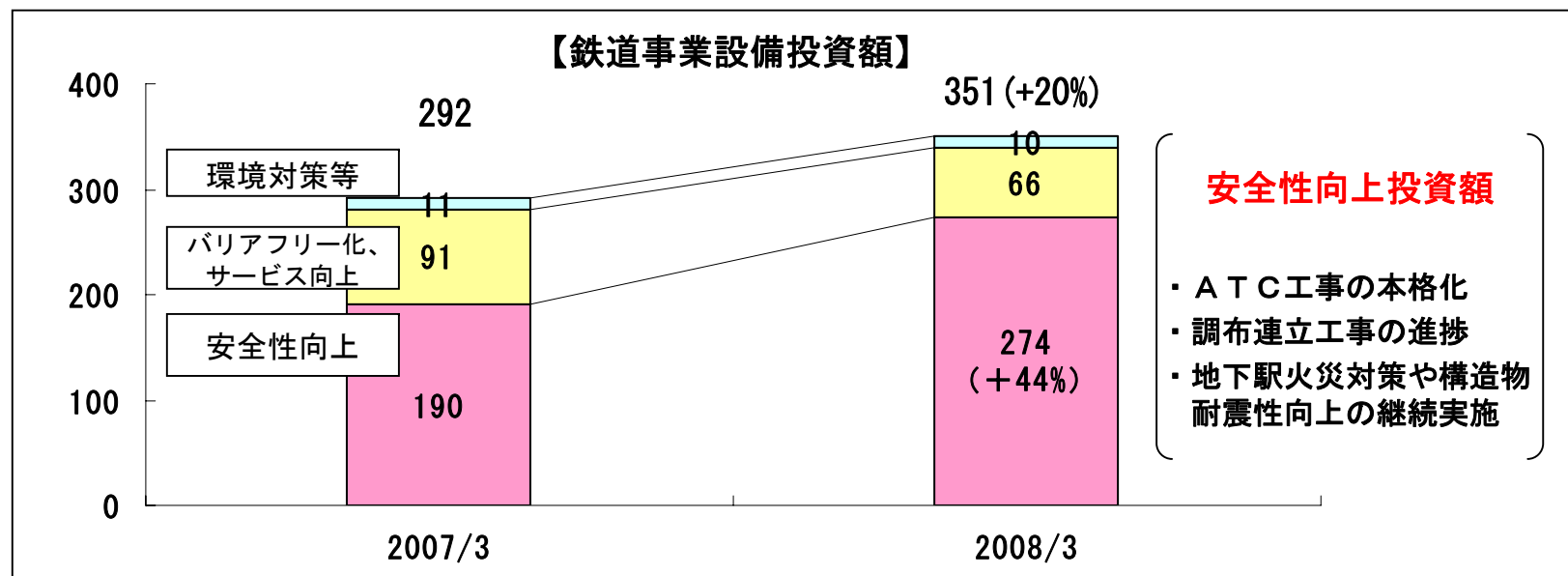
【Ⅱ. 2007年度の業績予想】

4. 設備投資（京王電鉄）



（単位：億円）

項目		2007/3	2008/3予想	増減	増減率（%）
鉄道事業	安全性向上	190	274	84	44
	バリアフリー化、サービス向上	91	66	△ 25	△ 27
	環境対策等	11	10	△ 0	△ 1
	計	292	351	58	20
開発事業・その他		130	261	130	99
合計		423	613	189	44



Ⅲ. 対応すべき課題と重点施策

【Ⅲ. 対処すべき課題と重点施策】



1. 対処すべき課題

鉄道事業における安全性と利便性の向上

沿線価値の向上

グループ事業競争力の強化

経営体制の整備・強化

【Ⅲ. 対処すべき課題と重点施策】

2-1. 2006年度重点施策の進捗状況

鉄道事業における安全性と利便性の向上



＜さらなる安全性の向上＞

- 調布駅付近連続立体交差事業の推進（国領駅・布田駅で地下駅舎を仮橋上化に切替 他）
- 自動列車制御装置（ATC）による新しい信号システムの基本設計を完了
- 地下駅火災対策の推進
- 高架橋の耐震性向上策の推進
- 踏切内の異常を列車の運転士に知らせる非常ボタン（踏切支障報知装置）の全156踏切道への設置完了
- 「運輸安全マネジメント」を推進するため、規程の制定、組織改正、教育プログラムの構築を実施

＜調布駅付近連続立体交差事業＞
国領駅 仮橋上駅舎外観(写真右)
駅施設ラッチ(写真下)



【Ⅲ. 対処すべき課題と重点施策】

2-1. 2006年度重点施策の進捗状況

鉄道事業における安全性と利便性の向上

＜バリアフリー化・サービス向上 等＞

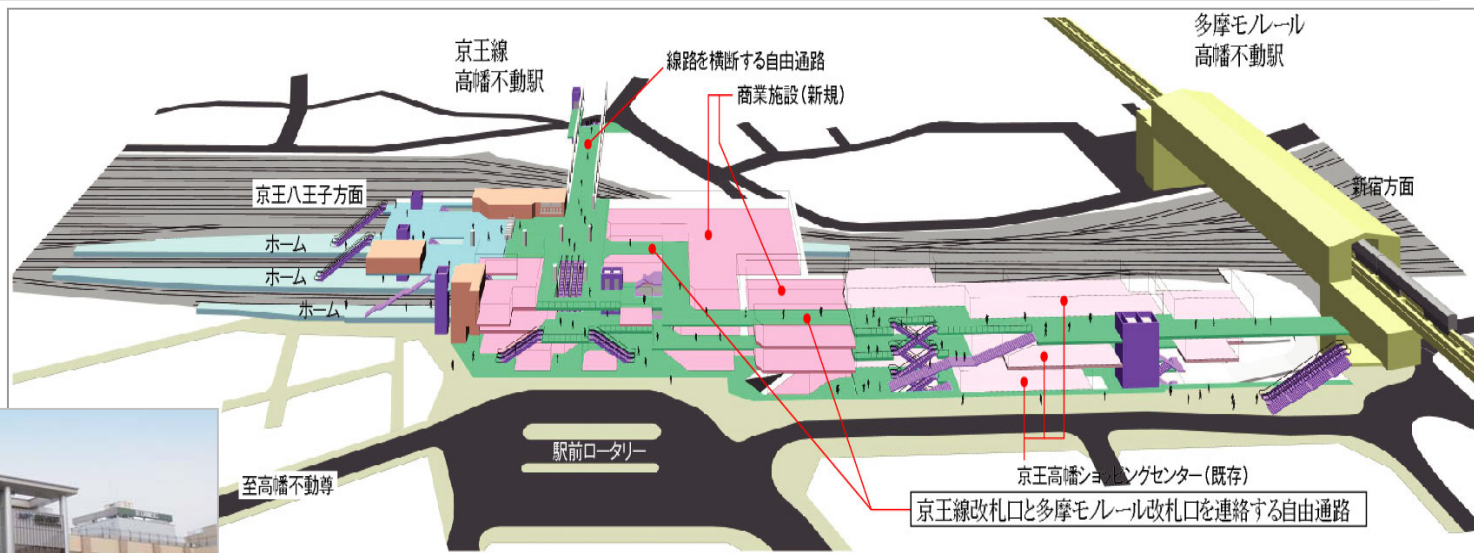
- 高幡不動駅でエレベーターおよび駅南北や多摩モノレールを結ぶ自由通路を備えた橋上駅舎が完成
- 桜上水駅と西永福駅で橋上駅舎化工事に着手
- 分倍河原駅や井の頭公園駅など7駅でエレベーターの新設・増設
- 共通ICカード乗車券「PASMO」のサービスを開始
- 9000系車両30両の導入と7000系車両24両の改造によるバリアフリー化と省エネルギー化の推進

＜高幡不動駅＞

概略図(右図)

および

外観(写真下)



【Ⅲ. 対処すべき課題と重点施策】



2-2. 2006年度重点施策の進捗状況 沿線価値の向上

- ▶京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンターでレストランフロアの改装を実施
- ▶「有限責任中間法人 移住・住みかえ支援機構」へ参画（2006年10月）
- ▶「京王リトナード稲城」 「京王リトナード八幡山」 「京王リトナード高井戸」を開業
（2006年 7月） （2006年10月） （2007年 3月）
- ▶「Hi-Rooms方南町」竣工（2007年1月）
- ▶定期借地権分譲マンション「トラスティア北野」を販売
- ▶京王高幡ショッピングセンターがグランドオープン（2007年3月）
 - 2007年3月 グランドオープン
 - 店舗数：40店舗
 - （今回新規オープン24店舗、既存16店舗）

【Ⅲ. 対処すべき課題と重点施策】



2-2. 2006年度重点施策の進捗状況 沿線価値の向上

▶京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンターの改装およびその他の施策

2006年 7月 8階レストランフロアを改装、「せいせきダイニング [クー!]」がグランドオープン

→ せいせき B・C館飲食店売上前年比 20%増

2006年12月 飲酒運転撲滅キャンペーンの一環として、京王駐車場「駐泊無料サービス」を開始

2006年12月 ユニバーサルデザイントイレの取り組みが「内閣府特命担当大臣賞」を受賞

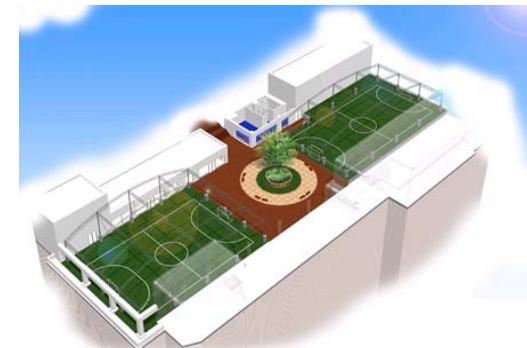
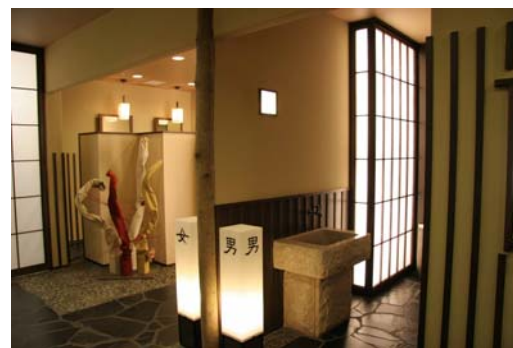
2006年12月 財団法人新エネルギー財団との共同事業により「太陽光発電システム」を導入

→ 発電した電気は、せいせきダイニング [クー!] の照明に利用

2007年 3月 屋上にフットサルコート「フットサルクラブNAS聖蹟桜ヶ丘」がオープン



ユニバーサルデザイントイレ



フットサルコート

【Ⅲ. 対処すべき課題と重点施策】

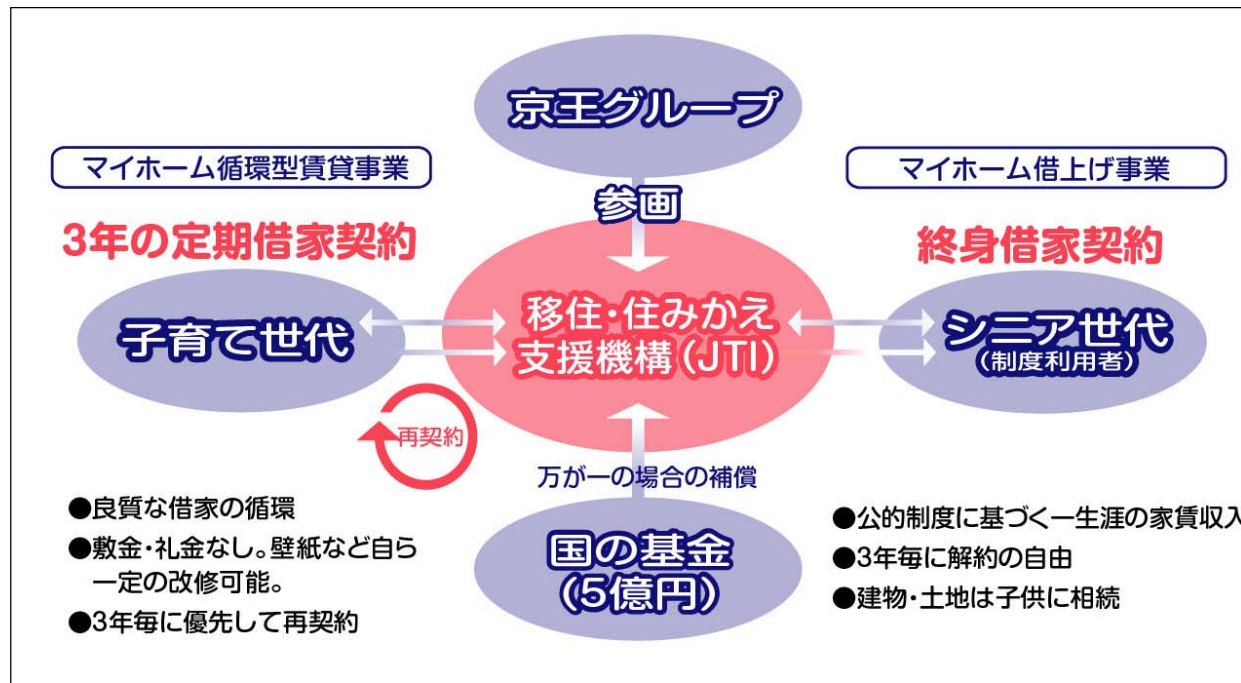
2-2. 2006年度重点施策の進捗状況 沿線価値の向上



▶「有限責任中間法人 移住・住みかえ支援機構」への参画

【目的】

- 沿線のシニア世代がお持ちのマイホームを借り上げ、シニア世代の住みかえを応援する
- シニア世代から借り上げたマイホームを子育て世代に転貸し、沿線における子育てを応援する
- 住みかえが進むことで発生する周辺事業をグループ全体のビジネスチャンスとして捉え、収益につなげる



「有限責任中間法人 移住・住みかえ支援機構」について

移住や住み替えを検討しているシニア世代の方々からマイホームを借り上げて賃料保証を行い、そのマイホームを子育て世代へ転貸を行うために設立された非営利法人。

移住・住みかえ支援機構の事業スキーム

【Ⅲ. 対処すべき課題と重点施策】



2-3. 2006年度重点施策の進捗状況

グループ事業競争力の強化／経営体制の整備・強化

グループ事業 競争力の強化

- ▶グループカード戦略の推進
 - 「オートチャージサービス」や「乗りものポイント」など、「PASMO」と京王パスポートカードの連携による顧客獲得策を実施
- ▶京王設備サービスのグループ外新規業務受託を拡大

経営体制の 整備・強化

- ▶ディスクロージャー委員会の設置（2006年4月）
- ▶当社グループの今後の発展に向けた機構改革を実施（2006年6月）
 - 鉄道事業における安全マネジメント推進体制の構築
 - グループ事業競争力の強化
 - グループ周辺事業立ち上げ推進
 - コーポレート・ガバナンス、コンプライアンス等体制強化 をはかる
- ▶事業所内保育所「サクラさーくる」を開設（2006年9月）
- ▶「安全・社会・環境報告書」の発行（2006年10月）
- ▶財務報告に係る内部統制の有効性評価に対応し、文書化を実施（2007年3月）
- ▶内部統制委員会を設置（2007年3月）

【Ⅲ. 対処すべき課題と重点施策】



3-1. 2007年度の重点施策

鉄道事業における安全性と利便性の向上

<さらなる安全性の向上>

- 「運輸安全マネジメント」の推進
- 自動列車制御装置（ATC）の導入（2010年度完成を目指す）
- 立体交差化の推進
 - 2012年度の完成を目指し、引続き調布駅付近連続立体交差事業[※]を推進
 - 京王線笹塚駅以西における鉄道立体化の早期実現に向け、引続き関係機関との協議を進める
- 駅施設・高架橋などの保安度向上
- 総合高速検測車の導入
- 気象情報システムの整備
- AED（自動体外式除細動器）の整備

<バリアフリー化・サービスの向上>

- バリアフリー化の推進（自由通路を備えた橋上駅舎化 等）
- サービスの向上（ホーム待合室の設置、ホームインターホンの整備 等）

<環境対策（省エネルギー化の推進）>

- エネルギー効率の良い車両の導入
- ホーム駅名看板の省電力化

※ 調布駅付近連続立体交差事業は、事業主体の東京都が道路整備として実施する国土交通省の国庫補助事業です。

【Ⅲ. 対処すべき課題と重点施策】



3-2. 2007年度の重点施策 沿線価値の向上

- 沿線拠点開発への注力
- 開発メニューの開拓
 - 「住みやすい沿線」「人の集まる沿線」に寄与する新たな開発メニューの開拓
- 新規賃貸物件の拡充
 - フレンテ明大前・フレンテ南大沢の建設
- 住居系賃貸物件の提供

- 「生活サポートサービス」のトライアル開始
- 高幡不動子育て支援マンションの建設
- 沿線コミュニティサイト「街はぴ」の開設
- 住みかえ推進事業への取り組み

【Ⅲ. 対処すべき課題と重点施策】

3-2. 2007年度の重点施策 沿線価値の向上

➤新規賃貸資産の拡充

○フレンテ明大前

2007年5月24日 オープン

「啓文堂書店」等の物販・飲食店舗やスポーツクラブ（2007年6月1日オープン）などの14店舗により構成される複合商業施設

フレンテ明大前



○フレンテ南大沢

2007年夏 オープン（予定）

「啓文堂書店」、「ルパ」等の9店舗により構成される複合商業施設

フレンテ南大沢

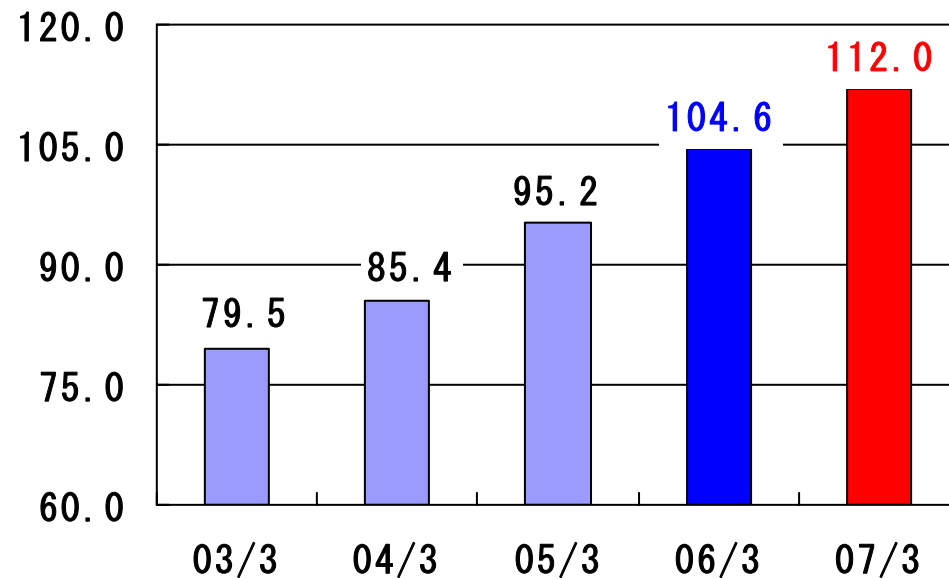


【Ⅲ. 対処すべき課題と重点施策】

3-2. 2007年度の重点施策 沿線価値の向上



京王書籍販売の営業収入の推移



啓文堂書店

2007年度は沿線内外に3店舗の出店を予定

【Ⅲ. 対処すべき課題と重点施策】

3-2. 2007年度の重点施策 沿線価値の向上

- 「生活サポートサービス」のトライアル開始
 - 「京王ほっとネットワーク」の運営➤

お客様や沿線住民の様々なニーズを収集し、暮らしに役立つサービスを提供していく生活サポートサービス「京王ほっとネットワーク」を運営

「京王ほっとナビ」を設置するなど、暮らしに役立つサービスを提供
(2007年3月 高幡不動駅にオープン)

相談会・セミナー

京王ほっとナビ

お買物宅配サービス

エキナカクリーニングロッカー

お手軽OAスポット



サービスメニューを拡充し、「生活サポートサービス」のネットワーク構築による京王へのワンストップ化を進めることで、沿線住民の生活利便性を高めていく。

【Ⅲ. 対処すべき課題と重点施策】

3-2. 2007年度の重点施策 沿線価値の向上

▶高幡不動子育て支援マンションの建設

子育て支援事業を開始し、子育て世代の沿線における住みやすさを向上させる。その一環として、住居と子育て支援施設が一体となった「子育て支援マンション」を建設し、子育てしやすい環境のモデルケースとする。

「高幡不動子育て支援マンション」 (2008年4月オープン予定)

○住居は子育てのしやすい機能やデザインを採用

○東京都認証保育所（「株」京王子育てサポート」が直営）や自治体の子育て支援施設を併設

「株」京王子育てサポート」の設立 (2007年4月)

○沿線で保育施設の運営や自治体の子育て支援サービスを受託し運営する新会社



高幡不動子育て支援マンション
完成予想図

【Ⅲ. 対処すべき課題と重点施策】

3-2. 2007年度の重点施策 沿線価値の向上



▶沿線コミュニティサイト「街はぴ」の開設

沿線コミュニティサイト「街はぴ」を開設し、沿線住民からの情報発信を通じて、沿線のより魅力的な情報を人々に伝える。
→「住んでもらえる、選んでもらえる沿線へ」



「街はぴ」ロゴマーク

<http://www.happy-town.net/>

トップページ



【Ⅲ. 対処すべき課題と重点施策】



3-3. 2007年度の重点施策 グループ事業競争力の強化

▶ 「PASMO」とグループカードの連携

- 「PASMO」と京王パスポートカードの連携による各種サービスの展開
- 「PASMO」電子マネー導入の準備

▶ 京王沿線内外での事業の拡大・競争力強化

- 京王電鉄バス・西東京バスグループの、顧客ニーズに合わせた新規輸送開拓
- 京王百貨店（新宿店）の、家庭・文化用品、紳士服フロアの改装
- 京王プラザホテル新宿・札幌の、客室等の改装
- 営業休止中の京王プレッソインの3店舗（茅場町、五反田、池袋）の建替え（2008年度中の開業を予定）
- 京王設備サービスの新規受託業務の拡大

【Ⅲ. 対処すべき課題と重点施策】

3-3. 2007年度の重点施策 グループ事業競争力の強化



- ▶京王沿線内外での事業の拡大・競争力強化
- 京王設備サービスの新規受託業務の拡大
- 【PFI事業】**

名称	府中市市民会館・中央図書館 複合施設整備事業	東京地家裁立川支部（仮称） 庁舎整備等事業
業務開始	2007年9月～（予定）	2009年2月～（予定）
業務内容	施設の維持管理業務、 市民会館の運営補助業務	施設の維持管理業務



府中市市民会館・中央図書館



東京地家裁立川支部（仮称）

【Ⅲ. 対処すべき課題と重点施策】



3-4. 2007年度の重点施策 経営体制の整備・強化

▶ 内部統制システムの整備・強化

- 内部統制委員会により、全社一体となった内部統制の構築を推進
- 「財務報告に係る内部統制の有効性評価」に対応し、内部統制の運用・評価を実施

▶ 「運輸安全マネジメント」の推進

- グループ内運輸業全社において「運輸安全マネジメント」に基づき、「輸送の安全性」の確保への取り組みを推進

▶ 買収防衛策の導入

- 2007年3月に暫定導入した「当社株式の大量取得行為に関する対応策」について、株主総会において承認を受けた上で、本格的な導入をはかる

▶ 人材の確保と育成

▶ グループIT戦略の推進

▶ 社会貢献への取り組み

【Ⅲ. 対処すべき課題と重点施策】



3-4. 2007年度の重点施策 経営体制の整備・強化

➤買収防衛策の導入について

目的

当社グループの企業価値・株主の皆様の
共同の利益の確保

防衛策の種類

事前警告型（企業価値評価独立委員会設置）

株主の皆様のご意向を次回株主総会において確認する。

（現在、導入している買収防衛策の有効期限は2007年6月30日まで）



このプレゼンテーション資料には、現時点の将来に関する前提・見通しに基づく予測が含まれております。実際の業績は、様々な要因により記載の予想数値と異なる可能性があります。

【連絡先】

京王電鉄株式会社

総合企画本部 経理部

久保 田口

PHONE : 042-337-3135

FAX : 042-374-9810